

森正藏 しんしょうぞう 新聞人。明治三十二年七月一日滋賀縣生れ、昭和二十八年一月十一日歿（一九〇一—五三）。大正十二年東京外國語學校露語科卒。十五年大阪毎日新聞社入社、ハルビン支局長、モスクワ特派員等々を経て東京本社論説委員、社會部長、編輯總務、取締役歴任。終戦後共同執筆した『旅風』二十年一解禁昭和裏面史』全二冊（上巻・昭和二十年十一月十五日、下巻・二十一年一月二十五日鱗書房）は、嘗年のペメ下・セラールとして有名。

他の『焦點下の北方問題』（馬場秀夫・黒田しん吉合著・東亞調査會編、昭和十七年七月二十日東京日日新聞社・大阪毎日新聞社）、『風雪の碑—昭和受難者列傳』（昭和二十一年六月二十日鱗書房。復刊『風雪の碑—人物・白木社公主義運動史』四十六年十一月二十日鱗書房）、『轉落の歴史—第二次世界大戦の真相』（昭和二十二年二月二十日鱗書房）、『オホソノ命戦の真相燃える氷原』（昭和二十二年六月二十日話社）、『戦後風雲録』（昭和二十六年十月五日鱗書房）等。

